

科目区分	専門教育科目	授業科目名	農林水産6次産業化			科目コード	26L205	担当者	橋本 剛			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	農林水産省在職中に携った地域振興や食料産業行政等の経験を活かし、農山漁村における6次産業化の政策的背景や先進的な取り組み事例について、実務的な視点から具体的に講義する。								科目に含まれることが必要な事項		

授業の主題	この科目は、地域社会に欠かせない産業である農林水産業を創意工夫で伸ばしていく手法を学びます。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	発表されたプランニングに対し、講義内で講評を行うとともに、実践に向けた改善点についてアドバイスを行う。
授業の方法	学科・コース教員による授業を行います。また、実社会で活躍している外部のゲストスピーカーを積極的にお招きします。授業終了後には、最終回にレポートまたは成果物を提出してもらいます。また、テーマに応じて、ミニまとめを授業後に提出してもらうことがあります。	アクティブ・ラーニングの実施方法	自らリサーチしてプランニングを行います。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	農業・漁業・林業について知ろう！(食料自給率、環境・文化、人々) [随時外部講師をオンライン等で]	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第2回	都市内農体験・さかのうえん	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第3回	農林漁業6次産業化とは何か。	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第4回	コラボのカとデジタルテクノロジー	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第5回	6次産業化最前線調査① [出島福祉村ほか調整中]	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第6回	6次産業化最前線調査② [うなぎの緒里ほか調整中]	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第7回	6次産業プランニング実践	講義内容の要点を整理し、自身の考えや新たな気づきを記録・蓄積する。これらを基に、プランニング実践に向けた構想を練る。	
第8回	6次産業化プランの最終発表及び講評・総括	プランニング実践で企画したものを発表し、反応や指摘を踏まえて最終レポートを作成する。	
		事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	なし。適宜紙又はデータで資料を配付します。	受講生へのメッセージ	生き物の生長と連動した産業である農林水産業についてその最前線と企画を、現場を見ながら学んでいきましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

